

第 107 回 二科展巡回福岡展



▲絵画部ギャラリートーク



▲絵画部ギャラリートーク

2024年3月19日（火）～3月24日（日）福岡市美術館（ギャラリーA～F）にて巡回福岡展を開催しました。4部門（絵画・彫刻・デザイン・写真）全国巡回作品と地元入選作品合わせて298点を展示し、3,210人の方に御来場いただきました。二科福岡支部、二科山口支部、二科大分支部、二科佐賀支部、二科長崎支部、二科会デザイン部福岡支部、二科会写真部福岡支部の協力のもと、無事終了することができました。

巡回福岡展関係分の受賞者は8人（福岡7・長崎1）、二点入選者が11人（福岡10・佐賀1）。初入選者は2人（福岡2）、前回は上回る数となり今後が楽しみな結果となりました。今回は会場が特別展示室から市民ギャラリーへと変わり、かなり面積が狭くなったため、絵画・彫刻・デザイン・写真各部の組み合わせ・構成等、かなり打ち合わせが必要となり、熟考を重ねました。

当巡回展のみの西日本新聞社賞を選考し表彰を行っていますが、今回絵画部は角加代子（福岡）、古門美佐枝（福岡）、松本陽子（佐賀）、デザイン部は、垣外波瑠香（福岡）、写真部は、大原紘一（福岡）の5氏が選出されました。

例年開催のギャラリートークは、3/19（火）11:00から、3/24（月）13:30から、会員・会友等により解説を行いました。今回3/24は、東京都知事賞を受賞された祝迫正豊会員（鹿児島）に依頼し、貴重なエピソードや制作の方法などのお話を聞くことができました。また、瀧澤賢福運営委員（大阪）が突然ご来場になられ、急遽ご参加いただき、作家としての姿勢・良心についてのお話には強い感銘を受けました。

入場者へのプレゼントは出品作家制作の色紙プラス、鶴田英輝会員のご努力でいただいた協賛者からご提供の豪華フェリーでの旅行（神戸/大阪・泉大津、釜山）、リゾートホテルの宿泊券等をプレゼントしました。

西日本新聞に、山口博司会員（会員賞）、山崎美恵子会員、白井偉之氏の出品作品と展覧会の紹介が掲載され、有明新報に、牟田志津子会友、塚本和美会友、鷹尾重徳氏の作品が掲載されました。またテレビ西日本のニュース等でも展覧会の様子が紹介され、会友賞受賞の立石洋子会友の作品紹介・インタビュー等も紹介されました。また、福岡県美術協会広報誌FAS 66号に、楯岡和子会員の作品と展覧会の告知が掲載されました。

○4部門会場展示に関するコラム

《絵画部》

会場の制約により、巡回作品を44点（会員外受賞者を含む）にしぼって展示しました。2点入選作品を1点に絞ったり、やむなく2段架けにする場所もあり、かなり窮屈な展示ではありましたが、空間を演出することで、美しく見せることができました。

《彫刻部》

会場が狭いため絵画の展示会場の中に点在するように展示しました。お互いに邪魔しないようバランスを考え展示しました。国立新美術館での会場風景を動画放映し、彫刻の醍醐味をより近いかたちで伝えることができたのではないかと思います。

《デザイン部》

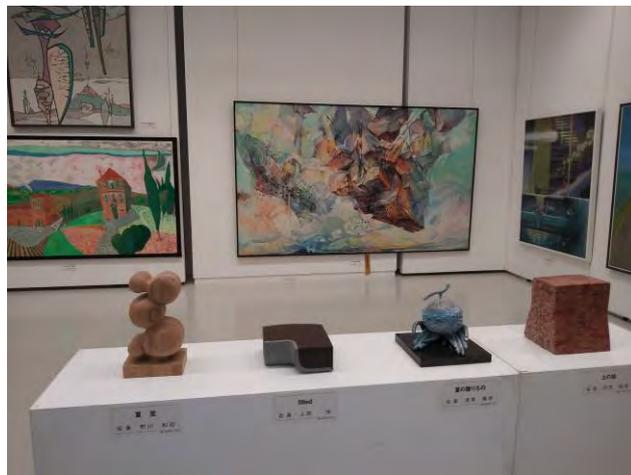
独立したスペースにデザイン作品のみを展示し、こじんまりとした空間に作品数を最小限に絞り、見やすい、リラックスできる展示を心掛けました。

《写真部》

狭いスペースでしたが、作品を絞り込み、美しい2段架けですっきりした会場になりました。独立したスペースでしたので、写真のみを楽しむことができ、見やすく見飽きない展示となりました。



絵画部



彫刻部



デザイン部



写真部